

富士見市防災環境カルテ

鶴瀬西1丁目西
鶴瀬西2丁目西

町会

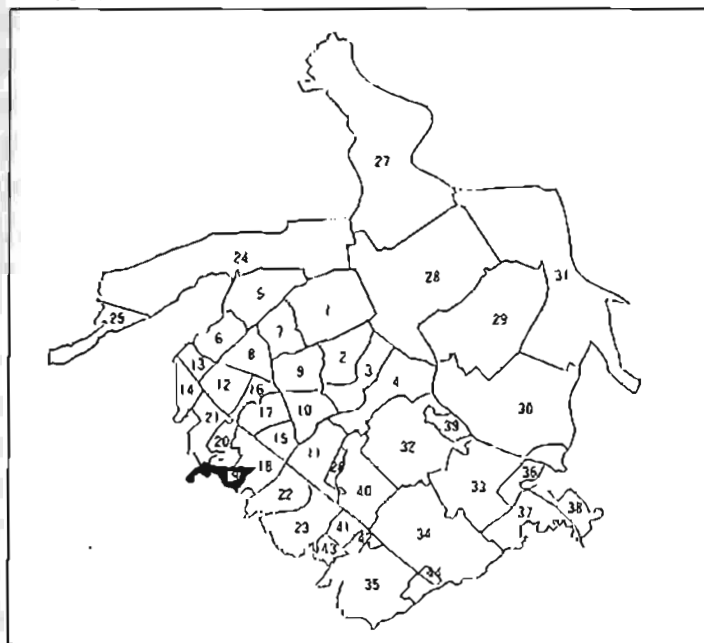
位置番号 19

概況

鶴瀬西1丁目西町会、鶴瀬西2丁目西町会は、富士見市の西部に位置し、町会全体、台地（台地段丘）で形成されている。西側は、大井町、三芳町に隣接し、一部畑を残す住宅地で、北側は、住宅都市整備公団鶴瀬団地と接している。環境は、武蔵野台地上に田圃と住宅が混在した良好な地域であるが人口密度、木造住宅率が高く、生活道路が狭隘なため、防災上の課題が多い。東側には鶴瀬西公民館（指定避難所）、銀の鈴幼稚園がある。

地震災害は、木造建物密集地で出火の危険性がやや高いと予想される。水害は少ないとみてよい。

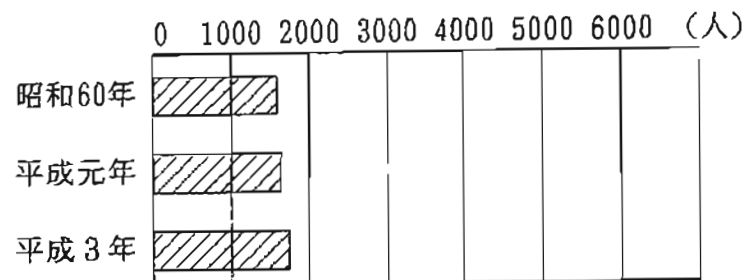
位置図



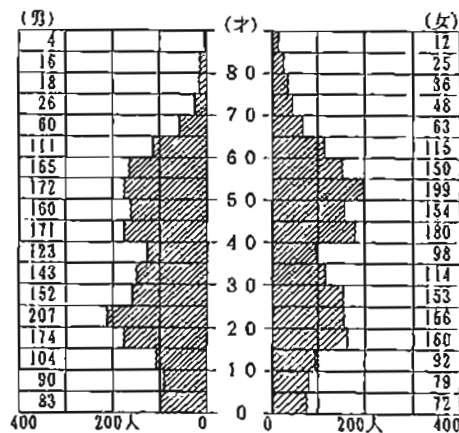
1. 基礎指標

・面積	0.098㎢
・人口(平成3年10月1日現在) 男	909人
女	799人
計	1,708人
・人口密度	17,428.6人/㎢
・寝たきり老人数	0人
・ひとり暮らし老人数	14人
・世帯数	635世帯

人口推移



年齢別人口(平成3年)



・商住工混在率住居系	95.5%
店舗系	2.8%
工業系	1.7%

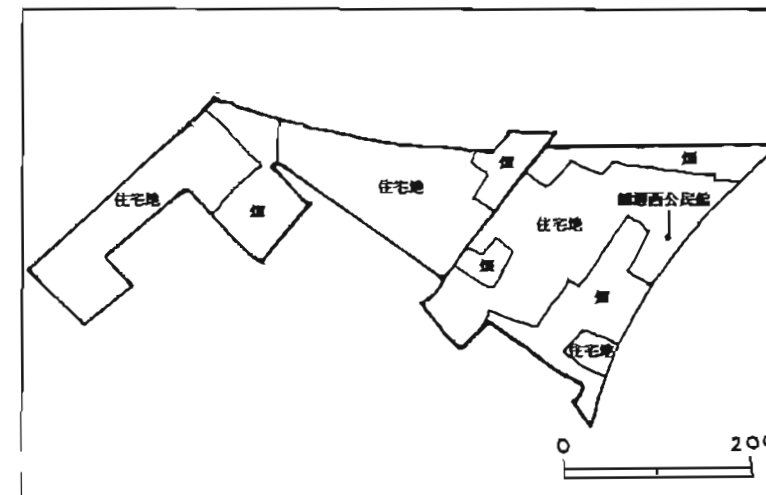
富士見市防災環境カルテ

鶴瀬西1丁目西
鶴瀬西2丁目西

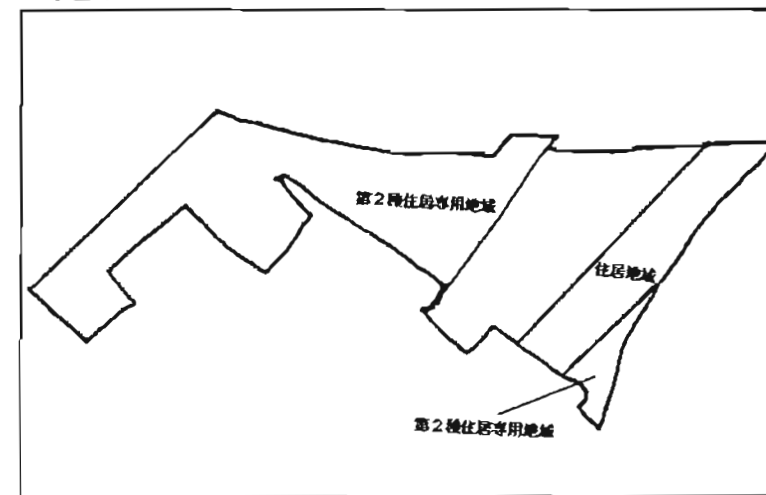
町会

位置番号 19

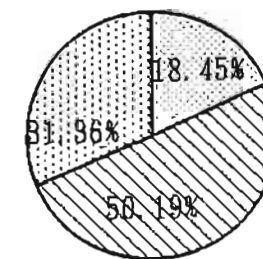
町会現況図



用途地域図



土地利用現況



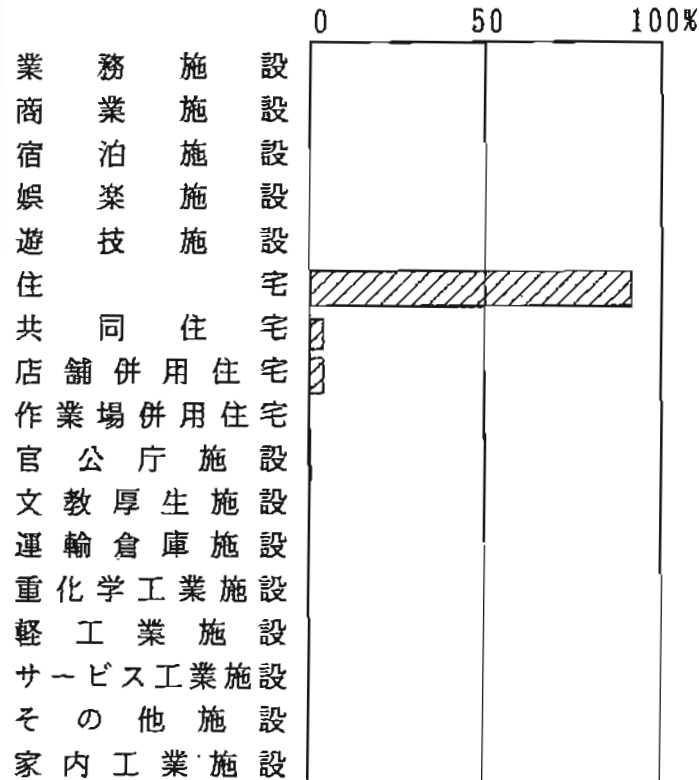
土地利用凡例

- 農地
- 山林・原野
- 市街地(宅地)
- 空地
- その他

2. 建物指標

・建物棟数	833棟	
・木造建物	722棟	
・非木造建物	111棟	
・建物面積	32,088.66㎡	
・木造建物	25,702.39㎡	
・非木造建物	6,386.27㎡	
※建物面積は1階の面積		
・住宅率	92.2%	
・木造率	86.7% (722棟)	
・昭和34年以前の木造家屋実棟数	38棟	
・同上率	52.6%	
・建物階層別現況 (木造建物)		
1階	296棟	41.0%
2階以上	426棟	59.0%

・建物用途別現況



3. 道路空地指標

・道路率	42本	428.6本/㎢
・幹線道路率	0本	0本/㎢
・公共空地面積	536.0㎡	
・公共空地率	0.5%	
・1人あたり公共空地	0.3㎡/人	
・公共空地内容 (*指定避難所)		
名称	面積	
1. 高校	0㎡	
2. 中学校	0㎡	
3. 小学校	0㎡	
4. 公園	0㎡	
5. 鶴瀬西公民館 *	536.0㎡	

4. 消防指標

所轄消防署	入間東部地区消防組合富士見消防署 応援協定 所沢市、川越地区消防組合、 新座市、志木市各消防本部
・消火栓本数	7本
・1消火栓あたり世帯数	90.7世帯/本
・消防水利貯水施設数	0 (0) か所 ()内は容量40トン以上の施設数
・消防団機械器具置場	0

5. 危険物指標

・給油取扱所	0か所
・一般取扱所	2か所
・屋内・屋外(タンク)貯蔵所	0か所
・地下タンク貯蔵所	0か所

6. 既往災害

・家屋浸水被害	床下	床上	道路冠水
昭和 年 月 ()	棟	棟	か所
年 月 ()	棟	棟	か所
年 月 ()	棟	棟	か所
年 月 ()	棟	棟	か所
年 月 ()	棟	棟	か所
年 月 ()	棟	棟	か所
年 月 ()	棟	棟	か所
・崖崩れ被害 (年 ~ 年)			0件
・火災出火件数 (年 ~ 年)			0件
・1923関東大地震被害			
家屋全壊			0戸
家屋半壊			0戸
被害率			0%

7. 防災基盤施設

消防	0か所	
病院	0か所	
医 院	1か所	中島医院
休日診療所	0か所	
警 察	0か所	警察署 派出所
水防施設 その他の施設	0か所	
・自主防災組織(数)	0	
・自主防災組織参加世帯率	0%	
・飲用井戸本数	0本	

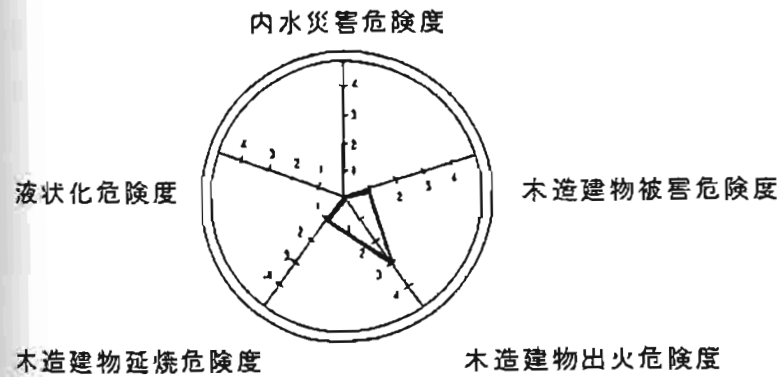
8. 危険度評価

・内水災害危険度	0ランク
・外水災害危険度	0ランク
・土砂災害危険度	0ランク
・木造建物被害危険度	1ランク
・木造建物出火危険度	3ランク
・木造建物延焼危険度	1ランク

地盤	地盤の地震動危険度	1ランク
危険度	液状化危険度	0ランク

※ 危険度評価ランク

危険度	無	微	小	中	大
ランク	0	1	2	3	4



9. 地盤条件

地盤は、町会全体が台地で形成されているため硬い。地震は、震度5(+) (強震の強い方) が予想される。

10. 問題点の整理

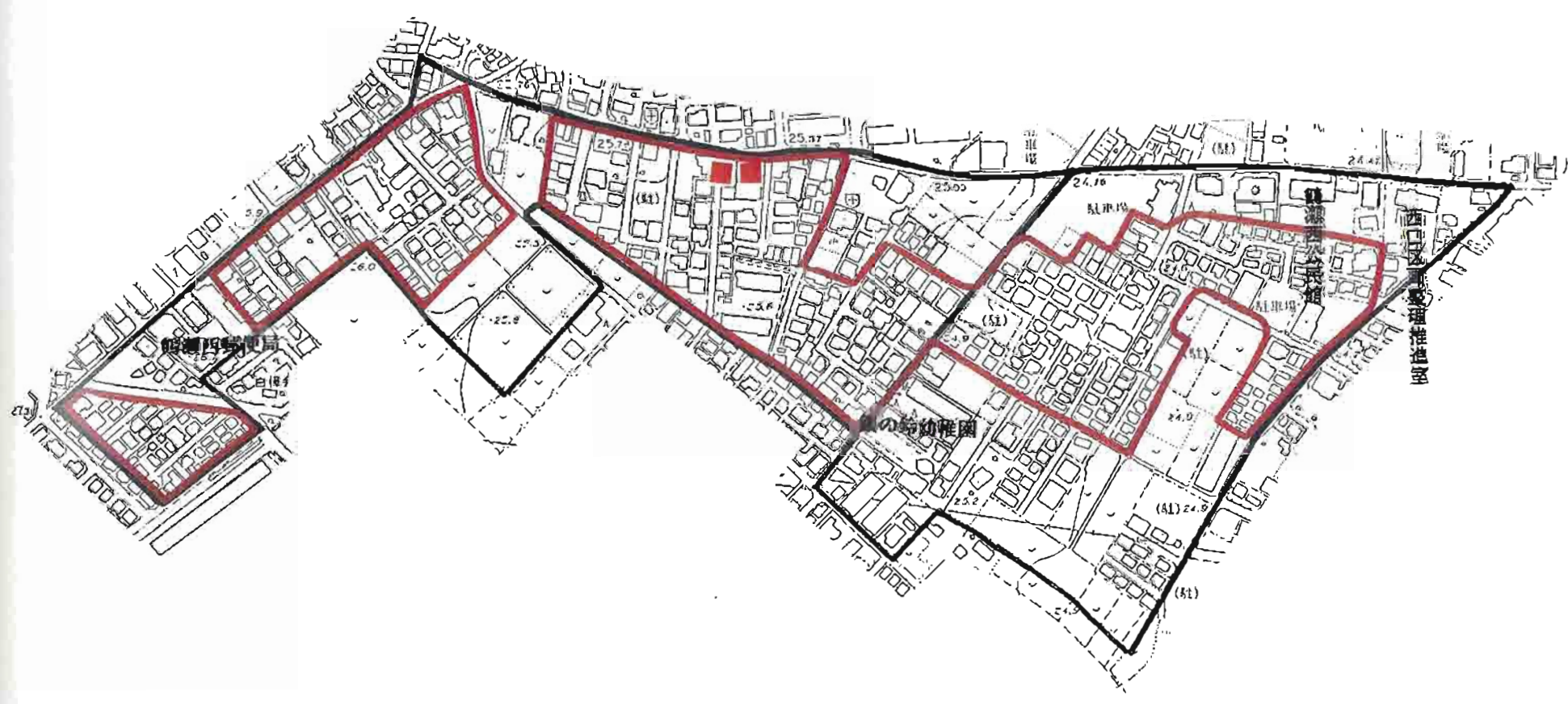
災害発生要因		災害抑止要因	
1. 内水災害	少ない。	1. 水防能力	水防施設は無い。
2. 外水災害	無い。	2. 防災組織	無い。
3. 倒壊危険	地盤条件が良いので倒壊の危険性は低い。	3. 消防能力	世帯数に比較して消火栓数が少ない。消防水利貯水施設が無い。
4. 出火危険	古い木造建物のある住宅地内で出火の危険性がやや高いと予想される。	4. 防火能力	木造家屋密集地の防火能力は低い。
5. 延焼危険	不燃領域率は70%以上と見込まれるため木造家屋密集地域では延焼の危険性がやや高いと予想される。	5. 避難収容力	町会内には鶴瀬西公民館が避難所に指定されている。町会内の地震災害は他町会と比較して少ないと予想されるので収容力は十分と思われる。
6. その他の災害	無い。		

11. 解決の方向性

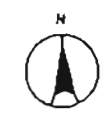
古い木造建物がある住宅地内で火災が発生した場合、この地域内にある消火栓の数が少なく、また、消防水利貯水施設がない。また、住宅地内の生活道路は狭隘で消防車の消防活動に支障をきたす恐れがややある。したがって、この地域の消防能力の向上が望まれる。
 本町会は、三芳町に隣接しているため、消防活動、避難収容力など防災上の対応に正確な情報収集や情報伝達といった問題が残る。したがって、これら防災上の情報交換、連携した対策が望ましい。

※ 想定震度 5(+) (強震(強))

防災現況図A(災害発生要因)



凡 例	
●	給油取扱所
■	一般取扱所
⚠	危険物屋内タンク貯蔵所
⚠	危険物屋外タンク貯蔵所
⚠	危険物地下タンク貯蔵所
▲	L P G 充 填 所
△	橋 梁
▽	横断歩道橋
△	立 体 交 差
□	木造家屋密集地域
—	河川・水面
⚠	急傾斜地崩壊危険区域
●	盛 土
□	浅い谷・低地(谷底平野)
既往浸水域(平成3年台風18号)	
■	田の浸水地域
■	田の被害区域
■	畑の被害区域
■	床上浸水地域
■	床下浸水地域



防災現況図B(災害抑止要因)



凡 例	
	消防署・出張所
	消防団機械器具置場
	水防施設
	防火水槽・プール
	警察署・派出所・駐在所
	市役所・出張所・公民館
	防災行政用無線子局位置
	コミュニティ・集会施設
	保健所・保健センター
	病 院
	医 院
	休日診療所
	指定避難所
	公 園
	河川・水面
	避難可能な道路
	幅員12m以上の道路
	幅員12m以上の道路 (計画中)
	学 校 (小・中・高)
	空地・水田・畑

0 50 100 200 300 400 500m

